よくわかる!カラリオガイド

パソコンなしでできる

手書き合成を使ってみよう!

写真×手書きのあたたかさ=とっても楽しいオリジナルフォト作品

このマニュアルは以下の機種に対応しています。
EP-705A EP-704A EP-703A
※このマニュアルでは、EP-703A を例に説明しています。

NPD4343-02

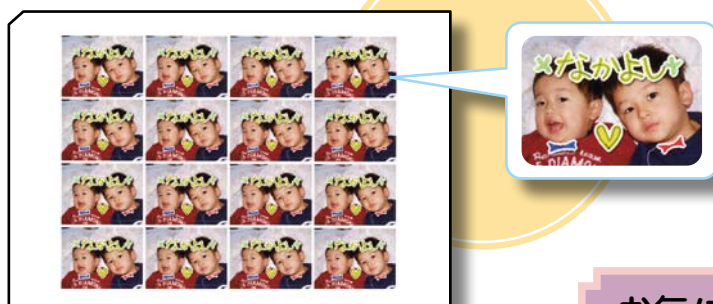
手書き合成とは？

パソコンを使わずに、メモリーカードの写真と手書きの文字やイラストを合成して印刷する機能です。写真を使った年賀状やグリーティングカードなど、アイディア次第でいろいろなオリジナルフォト作品ができあがります。

こんな楽しみ方ができます

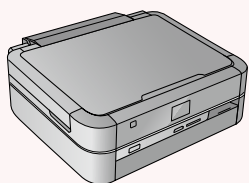
感謝の気持ちを手書きで添えて

シールを貼ればもっと楽しく

オリジナルシールも簡単に

お気に入りの写真をかわいくアレンジ

一句ひねってポストカードに

用意するもの

本体

A4 サイズの普通紙

手書き合成シートを印刷します。

ハガキまたは写真用紙

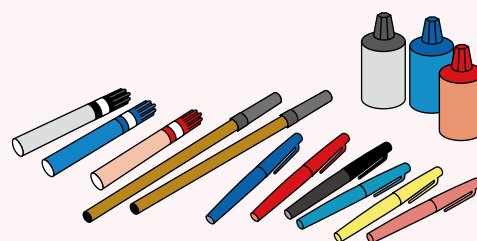
合成写真をプリントします。
対応用紙は以下の通りです。

- L 判または KG サイズの写真用紙
- ハガキ
- フォトシール フリーカット
- ミニフォトシール

ペンなどの筆記用具・シールやステッカー

ペンの太さ・色・筆などの質感がそのまま合成されます。
シールやステッカーも合成できます。

ただし、以下は正常に合成されないことがあります。

- ボールペン･シャープペンシルなどで書かれた細い文字や線
- 淡い色のペン･蛍光ペン･金色のペンなどで書かれた文字や線
- 背景が白または淡い色のシールやステッカー
- ラメなどの光る素材のシールやステッカー

合成したい写真が入ったメモリーカード（いずれか 1 枚）

メモリーカードの種類によってセットするスロットが異なります。

左スロットにセットするメモリーカード

- xD-Picture Card ™
- xD-Picture Card ™ Type H
- xD-Picture Card ™ Type M
- xD-Picture Card ™ Type M +

- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- マジックゲートメモリースティック

- SD メモリーカード
- SDHC メモリーカード
- SDXC メモリーカード*
- マルチメディアカード
- マルチメディアカードプラス

＊：EP-705A/EP-704A のみ対応。

以下のメモリーカードは、左記のメモリーカードと同じサイズになるアダプターを装着してからセットしてください。

- メモリースティック Duo
- メモリースティック PRO Duo
- メモリースティック PRO HG Duo
- マジックゲートメモリースティック Duo
- メモリースティック マイクロ

- miniSD カード
- miniSDHC カード
- microSD カード
- microSDHC カード
- microSDXC カード*
- マルチメディアカードマイクロ

＊：EP-705A のみ対応。

マルチメディアカードモバイル

右スロットにセットするメモリーカード

- コンパクトフラッシュ
- マイクロドライブ

対応のメモリーカードは 2012 年 6 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページ「よくあるご質問（FAQ）」でご確認ください。
< http://www.epson.jp/faq/ >

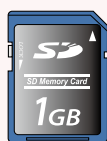
手書き合成にチャレンジ

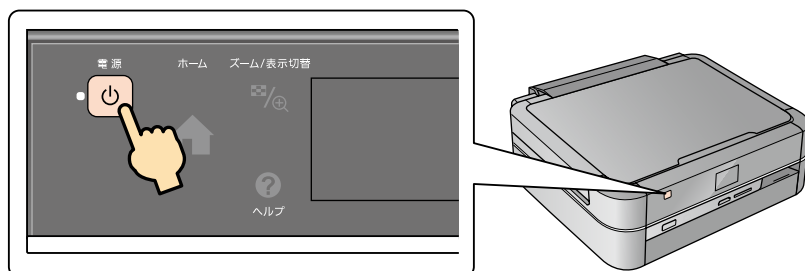
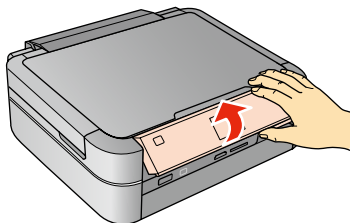
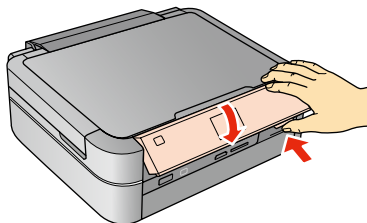
手書き合成機能を使って合成写真をプリントしてみましょう。
ここでは、SD メモリーカードに収録された猫の写真を使って、写真用紙＜絹目調＞はがきに年賀状を印刷する例で説明します。

ステップ1　手書き合成シートを印刷する

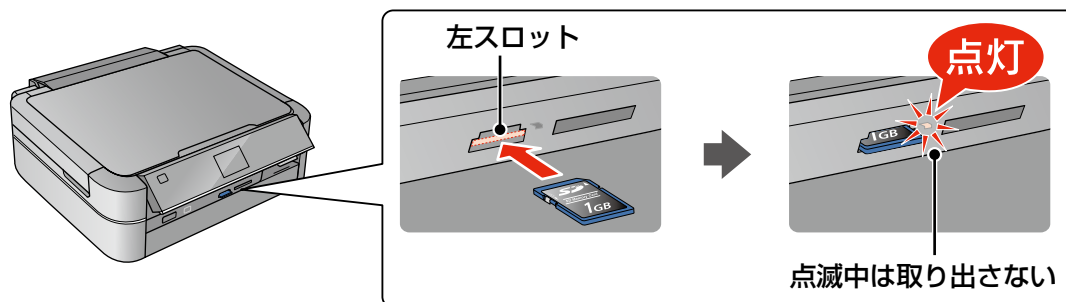
メモリーカードから 1 枚写真を選んで、A4 サイズの普通紙に手書き合成シートを印刷します。

このステップで使うもの

合成したい写真が入ったメモリーカード

A4 サイズの普通紙

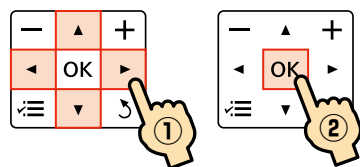
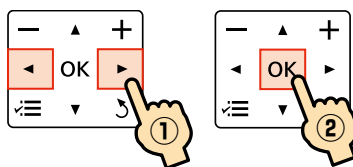
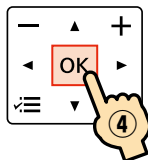
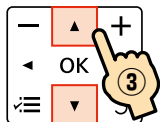
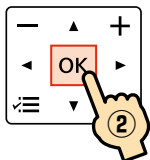
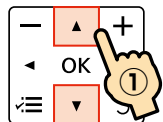
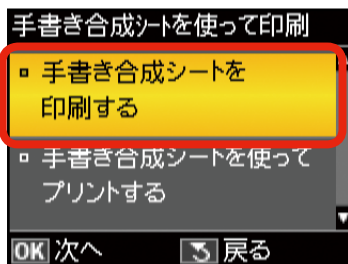
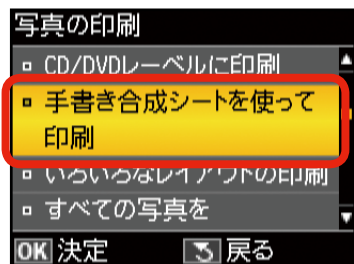
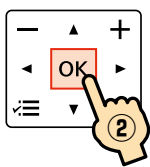
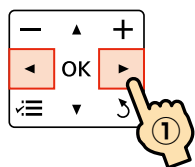
1 電源をオンにします。

2 操作パネルを見やすい角度に調整します。

パネルの右側を持って上げる

【パネルロック解除】ボタンを押しながら下げる

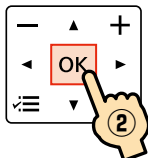
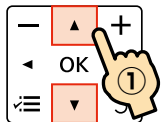
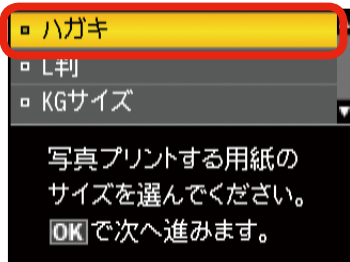
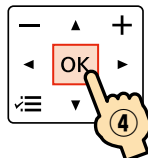
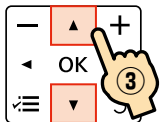
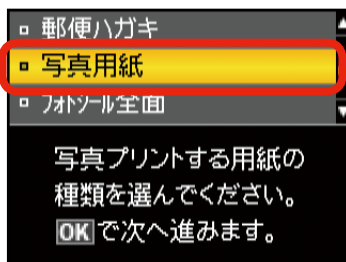
3 メモリーカードをセットします。

メモリーカードのデータが正常に読み込まれると、メモリーカードスロットランプが点灯します。

！重要

ランプが点滅しているとき（通信中）は、メモリーカードを取り出さないでください。保存されているデータが壊れるおそれがあります。

4 操作パネルで［写真の印刷］を選択します。

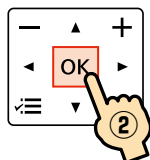
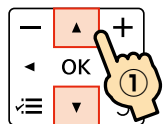
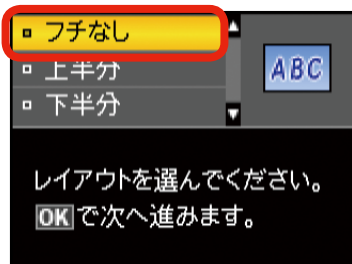
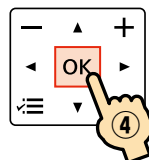
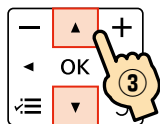
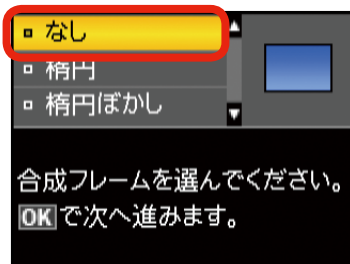
EP-704A /EP-703A

EP-705A

5 ［手書き合成シートを使って印刷］－［手書き合成シートを印刷する］の順に選択します。

6 合成する写真を選択します。

合成写真をプリントする用紙に合わせて［用紙サイズ］・［用紙種類］を設定します。

＜用紙サイズの設定＞

＜用紙種類の設定＞

使用する用紙に合わせて以下の通り設定してください。

使用する用紙	用紙サイズ	用紙種類
郵便ハガキ（インクジェット紙）*	ハガキ	郵便 IJ ハガキ
郵便光沢ハガキ（写真用）*		郵便光沢ハガキ
郵便ハガキ*		郵便ハガキ
写真用紙＜絹目調＞はがき		写真用紙
フォトシール フリーカット		フォトシール全面
ミニフォトシール		ミニフォトシール 16
写真用紙クリスピア＜高光沢＞	L 判 KG サイズ	EPSON クリスピア
写真用紙＜光沢＞ 写真用紙＜絹目調＞		写真用紙
写真用紙エントリー＜光沢＞		写真用紙エントリー

＊：郵便事業株式会社製。

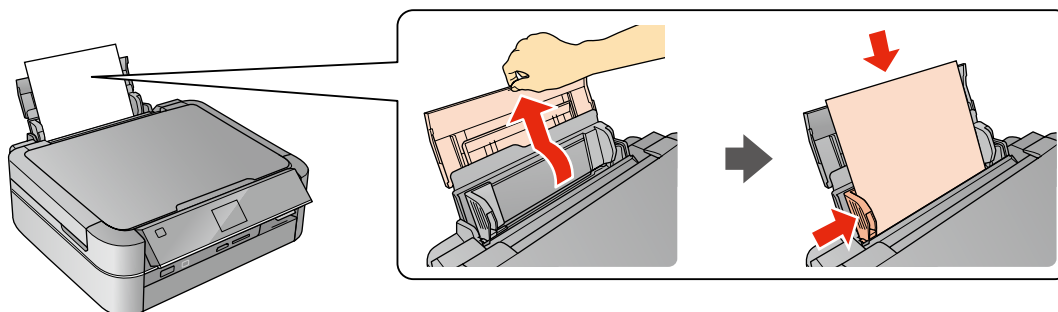
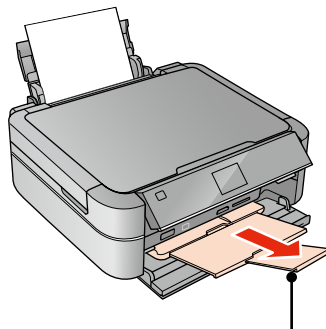
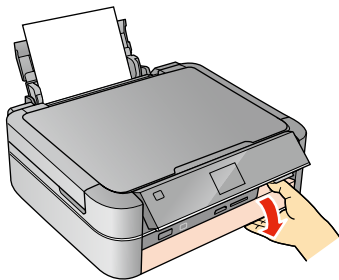
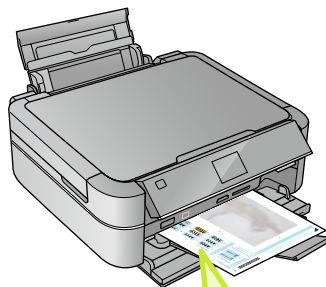
［レイアウト］・［合成フレーム］を設定します。

<レイアウトの設定>

<合成フレームの設定>

各設定の印刷イメージは以下の通りです。

レイアウト＊1	合成フレーム
フチなし	なし
上半分＊2	楕円
下半分＊2	楕円ぼかし

＊1：［用紙種類］で、［フォトシール全面］または［ミニフォトシール 16］を選択すると、シール印刷に対応したレイアウトの設定値が表示されます。
＊2：手書きの文字やイラストは、写真の上にも重ねて印刷できます。

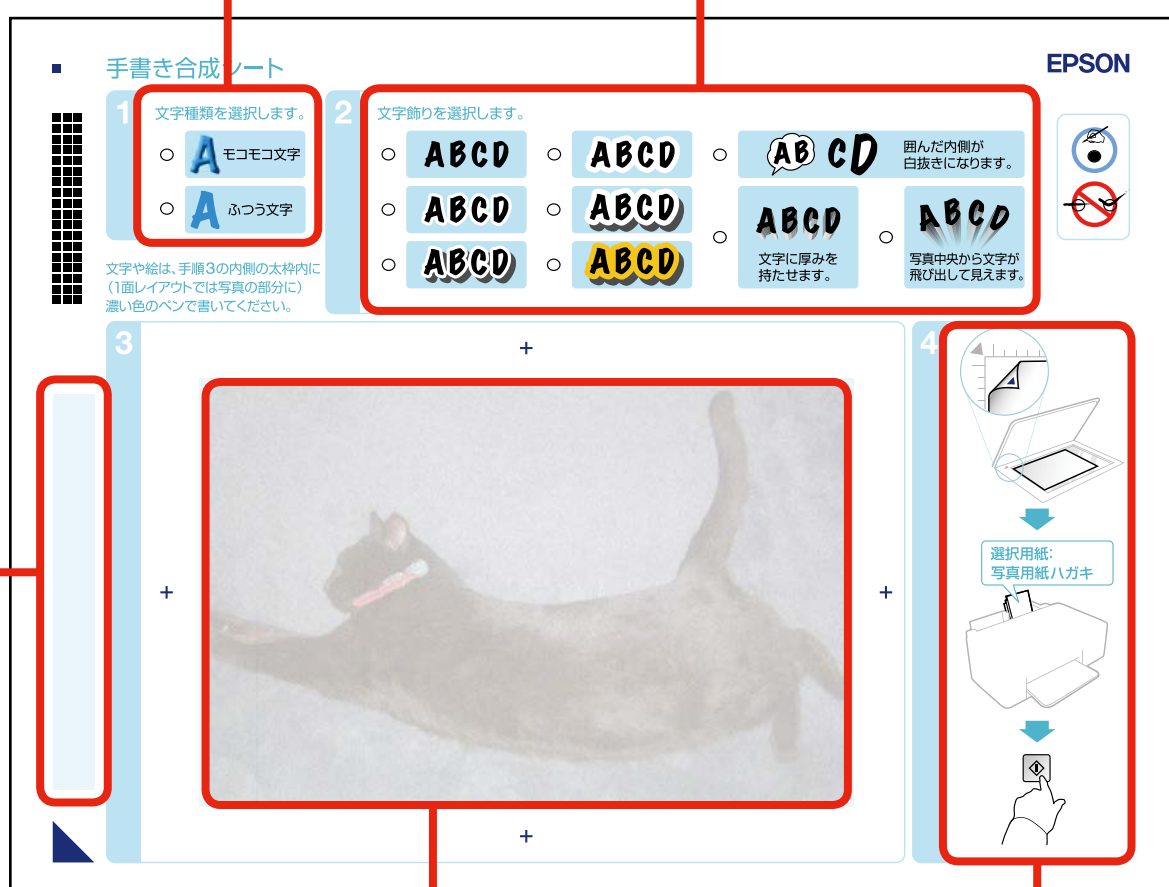
9 A4 サイズの普通紙をセットします。

用紙サポートを開けて引き出し、用紙を縦方向にセットします。

10 排紙トレイを引き出します。

11 手書き合成シートを印刷します。

ステップ2　手書き合成シートに記入する

ステップ１で印刷した手書き合成シートに、お好みの文字やイラストを記入します。

参考

手書き合成シートを印刷した後は、合成写真プリントが終了するまでメモリーカードを抜かないでください。合成写真が印刷できなくなります。

手書き合成シートには、以下の内容が印刷されています。

カラーバー
この部分は汚さないでください。

手書きエリア
水色の太枠内に文字やイラストを記入してください。

手書き合成シートのスキャン手順
スキャン手順が印刷されています。ステップ１で選択した印刷用紙をここで確認できます。

1 ［文字種類］・［文字飾り］を選択します。

手書き合成シートのマーキング作業は、HB などの鉛筆で行うことをお勧めします。鉛筆でマーキングした部分は消しゴムで消せるので、違うパターンの文字種類や文字飾りに変更してプリントできます。

各設定の印刷イメージは以下の通りです。

サンプル	文字種類（文字飾りなし）			
	モコモコ文字 モコモコと盛り上がった感じに合成します。		ふつう文字 書き込んだ通りに合成します。	
	文字飾り（文字種類：［ふつう文字］）			
	ABCD 文字やイラストをフチ取らずに合成します。		ABCD 文字やイラストを細くフチ取り、合成します。	
	ABCD 文字やイラストを細くフチ取り､影を付けて合成します。		ABCD 文字やイラストをフチ取り、合成します。	
	ABCD 文字やイラストをフチ取り、影を付けて合成します。		ABCD 文字やイラストを金色にフチ取り、影を付けて合成します。	
	ABCD 文字に厚みを持たせます。		ABCD 写真中央から文字が飛び出して見えます。	
	AB CD 囲んだ内側が白抜きになります。 			

2 手書きエリアに文字やイラストを書き込みます。

参考

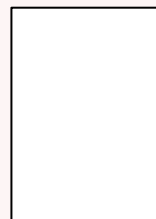
- 以下の文字やイラスト・シール・ステッカーは正常に合成されないことがあります。
  - ・ボールペン・シャープペンシルなどで書かれた細い文字や線
  - ・淡い色（手書き合成シートの左側にあるカラーバーで表した淡い色）で書かれた文字や線
  - ・蛍光ペンなどの蛍光塗料や、金色のペンなどで書かれた文字や線
  - ・背景が白または淡い色のシールやステッカー
  - ・ラメなどの光る素材のシールやステッカー
- 手書きエリアの外側に書かれた文字やイラストは、印刷されません。
- 文字種類で［モコモコ文字］を選択したときは、太いペン（2mm 以上）を使うと効果的です。

ステップ3　手書き合成シートをスキャンして合成写真をプリントする

このステップで使うもの

ステップ２で記入した手書き合成シート

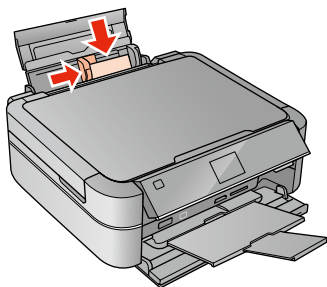
合成写真を印刷する写真用紙またはハガキ

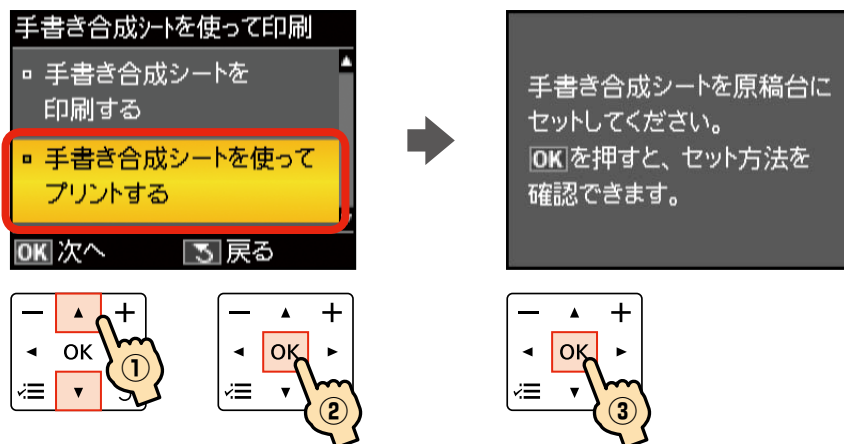
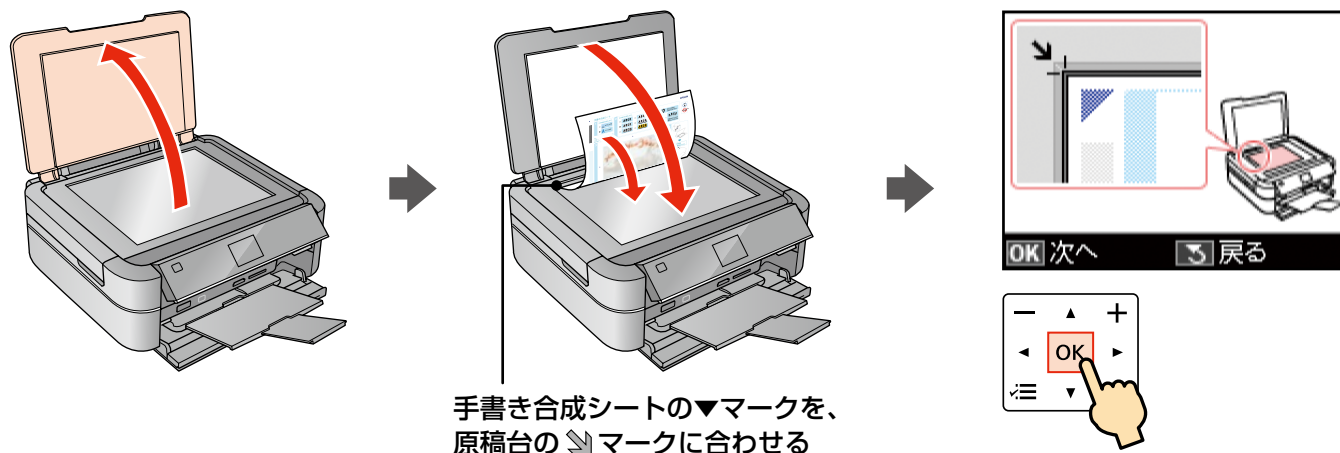
参考

手書き合成シートを印刷した後は、合成写真プリントが終了するまでメモリーカードを抜かないでください。合成写真が印刷できなくなります。

1 合成写真に使う印刷用紙を確認します。

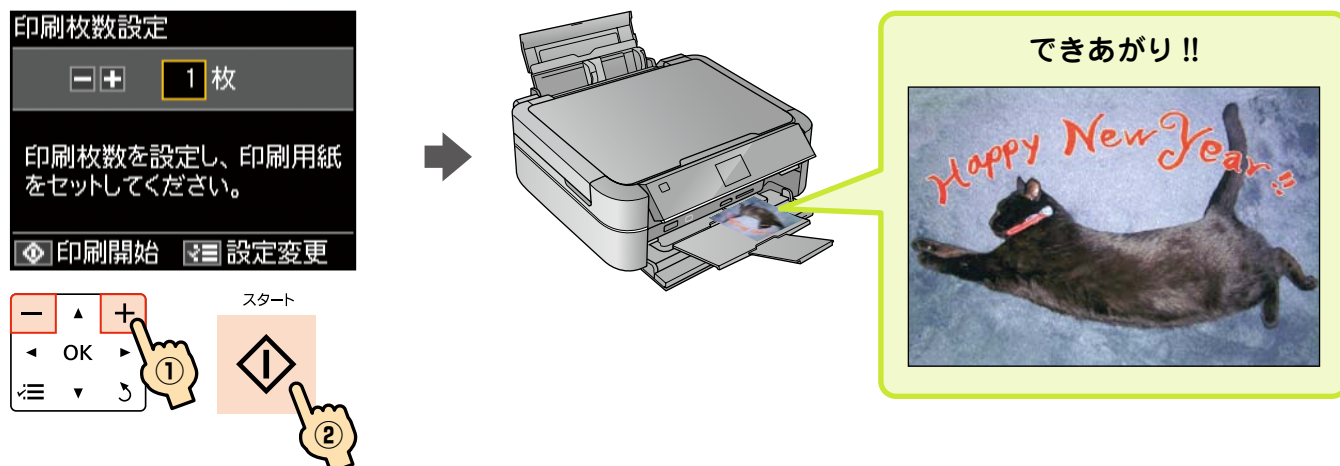
手書き合成シートに「ステップ１手書き合成シートを印刷する」で設定した印刷用紙が記載されているので、確認して同じ印刷用紙を用意します。

2 合成写真に使う印刷用紙をセットします。

用紙を縦方向にセットします。

3 操作パネルで［手書き合成シートを使ってプリントする］を選択して進みます。

以下の画面になっていないときは、【ホーム】ボタンを押して、［写真の印刷］－［手書き合成シートを使って印刷］－［手書き合成シートを使ってプリントする］の順に選択します。

4 手書き合成シートを原稿台にセットします。

参考

書き込んだ手書き合成シートは、インクなどが乾いていることを確認してから原稿台にセットしてください。原稿台が汚れると、汚れも一緒に合成されてプリントされます。

5 印刷枚数を設定し、合成写真をプリントします。

以上で、終了です。

こんなときは

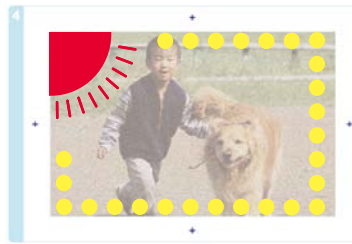
- 手書き合成機能でよくあるご質問 -

こんなときは

手書きエリアのフチまで書いたのに、写真のフチに印刷されない（思ったより内側に入ってしまう）。

手書きエリアの枠線は、写真のフチを表しているのではありません。手書きエリアの端に文字やイラストを書いたときは、以下のように、書いた内容が写真のフチよりも内側に印刷されます。

合成したい写真

＋

文字やイラストを手書きエリアの端に書いた手書き合成シート

＝

手書きエリアの端に書いた文字やイラストは、このように写真の少し内側に合成されます。

機能の仕様上、写真のフチまで手書きの内容を入れることはできません。

このように周辺ギリギリに文字やイラストを入れることはできません。

こんなときは

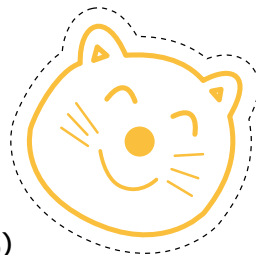
文字やイラストがかすれて、きれいに印刷されない。

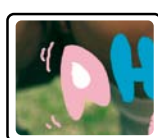
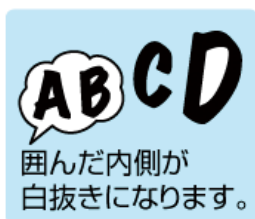
手書きエリアの文字やイラストは、書かれている文字や線の輪郭から形や範囲が認識されます。
このため、線が細かったりかすれたりしていると、正しく認識されません。また、手書き合成シートに印刷されている文字や線、背景画像と同じような色のペンを使用すると、正しく認識されません。
文字やイラストがかすれたり切れたりしてきれいに合成できないときは、太いペンや濃い色のペンなどを使用して、できるだけ太く、はっきりと書いてください。

こんなときは

イラストの一部が欠けてしまう。

手書き合成は、文字や線の部分のみ、または線の周囲ギリギリの部分を切り抜くため、（A）のように線が途切れたり離れたりしているイラストには不向きです。

イラストを合成するときは、（B）のようにイラストを囲む（線をつなげる）ようにして、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、イラスト全体が切り抜かれてうまく合成することができます。

こんなときは

文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定すると、文字の一部まで白抜きになってしまう。

「囲み内側白抜き」の機能の仕様です。

下図（A）のように文字全体を線で囲んでください。線で囲んだ内側が白抜きされて合成されます。また、文字飾りを「フチ取り」に設定すると、文字は（B）のように合成されます。ただし、（B）のようにイラストの中（顔の部分）が透過してしまいます。そのときは、濃い色のペンで塗り潰してください。

（A）

（B）

こんなときは 「囲み内側白抜き」に設定したのに、白抜きされない。

ボールペンの書き出しなどはインクが細かく途切れてしまい、しっかりと囲い線を囲めないことがあります。このようなときは、囲みを正しく認識できず白抜きされません。

「囲み内側白抜き」に設定したのに、白抜きされないときは、しっかりと囲い線が囲まれているかをご確認ください。

こんなときは 用紙の汚れ（異物）が合成されてしまった。

修正テープなどで汚れを消して、もう一度印刷をお試しください。

こんなときは 手書きの内容が等倍（100％）で印刷されない。

手書きエリアや印刷エリアは、印刷される領域の実寸を表示していません。書き込んだ内容は、用紙のサイズに合わせて自動的に拡大／縮小されますので、等倍にはなりません。

こんなときは 手書きした文字がにじんでしまう。

手書き合成シートを印刷した直後は、まだインクが十分に乾燥していません。乾燥していないシートに水性ペンなどで文字を書き込むと、文字がにじんでしまうことがあります。手書き合成シートを十分に乾燥させてから、文字を書き込んでください。

こんなときは 手書きエリアの画像に位置を合わせて文字を書いたのに、合成結果がずれてしまう。

手書きエリアの画像は位置合わせの目安になりますが、合成結果とぴったり一致するものではありません。また、手書き合成シートのスキャン時にシートが傾いてセットされていると、合成結果が大きくずれることがあります。

こんなときは シールやステッカーの切り抜きなどが正常に合成されない。

シールやステッカーの背景色が、手書きエリアに印刷された写真画像と同じような淡い色だと、線やフチが認識されず正常に合成されないことがあります。
そのようなときは、濃い色でフチ取りをして、文字飾りを「囲み内側白抜き」に設定してください。
実物のシールやステッカーに近い状態で合成されます（背景の色は白抜きされます）。